

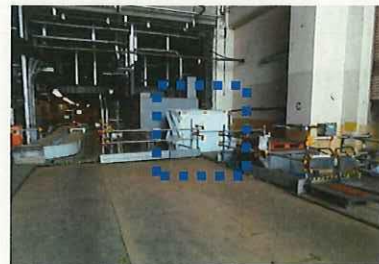
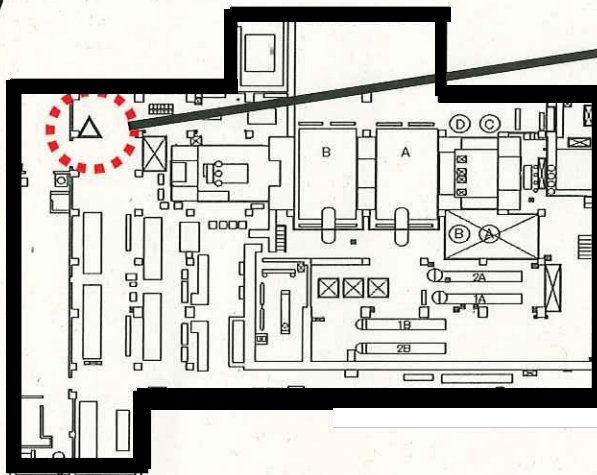
放射線サーベイ記録(1/1)

H28.11.2

測定目的	1号機 T/B H/B室ダスト測定	測定項目	■ γ □スミア ■ダスト □核種分析
測定場所	1 u T/B	測定者	
測定日時	2016/10/26 10:30 ~ 11:15 2016/11/2 11:10 ~ 11:20	測定器 (換算定数)	F1-CDS-001 F1-GMAD-211 F1-HS-085
測定条件	天候:曇り (曇り:11/2)	区域区分	—

△:ダスト測定箇所 ×:線量率

1号機 タービン建屋 1階



ハウス拡大



ダスト採取時



開口部※

4.0mSv/h



※開口部より5.5m程度ホースを挿入し、
H/B室のダストを採取

△ 空气中放射性物質濃度 (CDS)

空气中放射性物質濃度 (Bq/cm ³)	グロスカウント (cpm)
△ 3.4E-05 7.2E-06 ※	450 150 ※

採取時間: 10時30分 ~ 11時15分

採取流量: 114.0 L/分

BG: 70cpm BG: 120cpm※

換算定数: $8.92 \times 10^{-8} \text{Bq/cm}^3 \cdot \text{cpm}$ 検出限界値: $5.8 \times 10^{-6} \text{Bq/cm}^3$ 検出限界値: $7.2 \times 10^{-6} \text{Bq/cm}^3$

※11月2日に再測定実施

GMAD測定 時定数: BG30秒、試料10秒

※再測定の結果、下がったことから
天然核種の影響で検出されたと
推察する。

※ 開口部より約3m程度挿入し、ホットスポットによる
ピット内雰囲気線量率測定。